

はやま住民福祉センターだより



今月のテーマ

赤い羽根共同募金が始まりました(10/1~翌3/31)



町民の皆さまに毎年ご協力いただいております、赤い羽根共同募金が、今年も始まっています。今月は、知っているようで意外と知らない「赤い羽根共同募金のひみつ」について特集します。

ひみつ①赤い羽根の「はね」はどうして赤いの？

答え…アメリカで行われていた社会福祉のための募金活動で、水鳥の羽根を赤く染めて使っていることにヒントを得て、日本でも鶏の羽根を使うことになりました。もともとヨーロッパやアメリカでは「赤い羽根は勇気を表す象徴」だったので、ネイティブアメリカンは、色々な色の羽根かざりを頭などに付けていましたが、勇気のある行いや、良いことをした人が赤い色の羽根を付けることを許されたことから、赤い羽根＝「勇気のしるし」のシンボルとなりました。

ひみつ②「赤い羽根共同募金」は日本ではいつから始まったの？

答え…1947年(昭和22年)、太平洋戦争が終わり、焼け野原でたくさんの人たちが苦しんでいる中で、助け合いの「赤い羽根共同募金」が始まりました。最初は戦争で家や家族を失った子どもたちのために、寄付が役立てられました。誰もが苦しい生活でしたが、当時で5億円を超える寄付が集まりました。(現在のお金の価値だと100億円を超えるそうです)

ひみつ③赤い羽根募金は何に使われているの？

答え…高齢者や障がい者等を対象として行う食事、入浴サービス事業、住民全般を対象として行う各種福祉研修・講座開催事業、機材整備事業など、地域福祉推進のために行われる様々な事業が対象となっており、地域福祉団体の育成という面でも大きな役割を果たしています。

ひみつ④「赤い羽根共同募金」は日本以外の国にもあるの？

答え…「共同募金」は、世界40か国で行われています。しかし、シンボルとして「赤い羽根」を使っているのは日本だけです。アメリカや南アフリカでも、かつてはシンボルとして「赤い羽根」を使っていましたが、今は日本だけが使っています。

ひみつ⑤「赤い羽根」以外の色の募金にはどんな募金があるの？

- 答え…(1)緑の募金:子どもたちへの森林環境教育や森林整備、学校等の緑化などの活動に。(国土緑化推進機構)
- (2)青い羽根募金:海で遭難した人々の救助活動にあたる全国のボランティア救助員の方の活動を支援するために。その他、ライフジャケットやロープなどの資材購入や救助船の燃料も支援しています。(日本水難救済会)
- (3)白い羽根募金:会費や寄付で運営されてきた日本赤十字社が昭和25年から8年間だけおこなった募金活動。



◆ 令和6年度 年末たすけあい運動助成事業

～アフターフォロー見学会 10/11(金) 実施しました～

HAYAMA居場所プロジェクトの活動にお邪魔してきました。(場所:木の下の会館)

葉山の子どもが誰でも来れる場所で、家庭や学校以外の「居場所」を提供しています。誰かと一緒に好きなことをしてもいいし、1人でゆっくり過ごしてもいい。「そのままのキミで過ごせる場所」づくりを毎週おこなっています。

子ども・若者に利用格差を生まないため、利用者から参加費は徴収せず、食料や飲料、備品などすべて無料で提供しています。子どもたちは「ただいま～！」と会館に駆け込み、スタッフは「おかえり」と出迎えます。お菓子を食べたり、ボランティアのお兄さんとゲームを始めたり、それぞれが好きな活動をしていました。ここが確かな「居場所」になっていることが、子どもたちの笑顔から伝わってきます。

この活動をぜひ続けてほしいという思いから、座談会では委員との質問応答も白熱したものとなりました。

普段の活動の様子



<お知らせ>

年末たすけあい運動助成団体である「葉山の自然と海でウェルネスライフをつくる会」主催の講座のご案内です。

『死生観を語り合って現在をより幸せに生きる』

～人生会議ははじめませんか～

青森県社会福祉法人中央福祉会
特別養護老人ホーム三思園が作成した「どせばいい？カード」を使用し、3グループに分かれて死生観を語り合います。

- 日時: 2024年11月16日(土) 14:00~16:00
- 場所: 葉山町図書館2F研修室(和室)
- 参加費: 無料
- 定員: 12名
- 申込: 右記QRコード 又は 電話090-4727-9286



不登校・ひきこもりの家族会 葉山ゆずり葉の会

○日時: 11月28日(木)10:00~11:30ひきこもりの人の家族ZOOM参加も可、不登校編は5月から個別相談が中心となっています。(下記メールへ要事前連絡)

○会場: 葉山町福祉文化会館 2階第2集会所(イスあり)
ゆずり葉の会 zushi.yuzurihanokai@gmail.com